

ドイツ学生が 和食調理挑戦

前橋の専門学校

「日独学生青年リーダー交流事業 群馬プロگرام」で来日したドイツの学生メンバー十七人が二十二日、前橋市の群馬調理師専門学校で和食の調理実習を体験、食を通じて交流を深めた。

メンバーは、同校の生徒のサポートを受けながら天ぷらと茶わん蒸しに挑戦した。日本食はドイツで人気があるが、作るのは初めてという学生がほとんど。

ドレッシング在任のシュテファニさん(25)は「ドイツ料理とはまったく調理の仕方が違って難しいけれど、日本の学生がと

天ぷら揚げを体験するドイツ学生



ても親切にサポートしてくれて助かる」と、慣れない手つきで天ぷらを揚げていた。

群馬調理師専門学校二

年の赤石誠さんは「言葉は通じないが身ぶり手ぶりで説明した。楽しんでくれたようでうれしい」と話していた。